

WS 6	現代において『歎異抄』の思想を味わう			
	【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに18,530円 聴講生20,080円			
	『歴史・文学・人間学』【ワークショップ】人間学 【時間】毎回 15時00分～17時00分（計12回）			
概要	濁世を生きる人の心に突き刺さる親鸞の珠玉の言葉を収録した仏教の書として、特に近代以降、最も多くの日本人に読まれてきたのが『歎異抄』です。このWSでは、背景となる仏教の基礎知識を、逐次、確認しながら、丁寧に『歎異抄』を読み進めていくと同時に、現代人にも頷けるような思想・哲学の観点から、浄土教信仰に基づく悪人救済のありように迫ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	浄土仏教の基礎知識～『歎異抄』の思想に親しむにあたって	東京医療保健大学大学院 准教授 山本 伸裕
2	4/18(木)		『歎異抄』成立の背景～唯円の「序」、及び蓮如の「識語」を読む	
3	4/25(木)		『歎異抄』1条「弥陀の本願」、2条「地獄は一定」を読む	
4	5/16(木)		『歎異抄』3条「悪人正機」、4条「浄土の慈悲」、5条「追善供養」を読む	
5	5/23(木)		『歎異抄』6条「弟子一人」、7条「無碍の一道」、8条「非行非善」を読む	
6	5/30(木)		『歎異抄』9条「煩惱の所為」、10条(別序)「無義をもって義とす」を読む	
7	6/13(木)		『歎異抄』11条「誓願の不思議」、12条「学解往生の異義」を読む	
8	6/20(木)		『歎異抄』13条「本願ぼこり」を読む	
9	6/27(木)		『歎異抄』14条「一念発起の功德」、15条「信心のさだまるとき」を読む	
10	7/ 4(木)		『歎異抄』16条「回心」、17条「辺地往生」、18条「信心かけなば」を読む	
11	7/11(木)		『歎異抄』後序(前半)「如来よりたまわりたる信心」を読む	
12	7/18(木)		『歎異抄』後序(後半)「親鸞一人がためなりけり」を読む、総括	
連絡事項	*テキストは、金子大栄校注『歎異抄』(岩波文庫550円)を使用します。各自ご用意ください。			